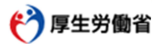


赤ちゃんが泣きやまない

泣きへの理解と対処のために



厚生労働省では、赤ちゃんの泣き方の特徴と、泣きやまないときの対処法を理解してもらうために、DVD『赤ちゃんが泣きやまない』を制作しました。特に、泣きやませるために激しく揺さぶったり口をふさいだりしてはいけないこと、どうしたら泣きやみやすいかを分かりやすく解説しています。

赤ちゃんのいる保護者はもちろん、赤ちゃんの面倒をみるすべての方に、ぜひご覧いただきたいと思います。

DVD「赤ちゃんが泣きやまない」に関するQ&A

～ DVDの視聴とともにご一読ください ～

Q このDVDはどのようなことを伝える内容ですか？

このDVDは、赤ちゃんの泣き方の特徴と、泣きやまないときの対処法を理解してもらうこと、特に、泣きやませるために激しく揺さぶったり口をふさいだりしてはいけないことを知ってもらう内容です。11分程度で視聴できますので、最初から最後まで通してご覧ください。

【主な内容】

- ◇ 赤ちゃんの泣きの特徴
- ◇ 赤ちゃんを泣きやませようと揺さぶった場合の影響
- ◇ 赤ちゃんの泣きへの対処法の紹介



Q DVDの中で赤ちゃんの泣きへの対処法がいくつか紹介されていますが、ここで紹介されている方法が一番良いのでしょうか？

DVDで紹介した方法が、どの赤ちゃんにとっても一番良い方法とは限りません。それぞれの赤ちゃんに合った方法がありますので、いろいろ試してみてくださいね。



Q DVDでは、赤ちゃんの泣きへの対処法の中で、ほ乳瓶でミルクをあげる方法が紹介されています。私はいつも母乳をあげていますが、人工乳をあげたほうがよいのでしょうか？

このDVDは、お母さんだけでなく、お父さんの育児も想定しているため、ほ乳瓶でミルクをあげる方法を紹介しています。普段、母乳をあげているのであれば、母乳をあげてくださいね。

Q DVDで紹介されている赤ちゃんの泣きへの対処法や、そのほか思いつく方法をすべて試してみましたが、それでも泣きやまないのが心配です・・・。

いろいろ試して、それでも泣きやまなくても問題ありません。もし泣きやまないことにイライラしそうなときは、

- ・ 赤ちゃんを安全な場所に寝かせて、その場を離れて、自分がリラックスしましょう。
- ・ 少ししたら（長時間の放置はいけません）、戻って赤ちゃんの様子を確認しましょう

もし、発熱や嘔吐などの症状が出ていたり、心配な場合は、お医者さんに相談しましょう。



Q 「乳幼児揺さぶられ症候群」にならないよう、激しく揺さぶってはいけないとのことですが、「高い高い」や「横向き抱っこ」で揺らしてあやすこともやめた方がよいのでしょうか？

危険なのは、頭が前後に激しく揺さぶられる状態です。首や体をしっかり支えた状態での「高い高い」や「横向き抱っこ」をして揺らすなど通常のあやしでは「乳幼児揺さぶられ症候群」にはなりません。



赤ちゃんが泣きやまなくてイライラすることは誰でもあり得ることです。育児で不安なことや気になることがあったら、1人で悩まず、お住まいの市町村窓口やお近くの児童相談所にご相談ください。

ご自身が出産や
子育てに悩んだら。

子育てに悩む
親がいたら。

虐待を受けたと思われる
子どもがいたら。

児童相談所（全国共通ダイヤル）や市町村の窓口へ連絡・相談ください。

連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。



児童相談所
全国共通
ダイヤル

0570-064-000



お住まいの地域の児童相談所に電話をおつなげします。 ※一部地域では使えないことがあります。 ※PHSや一部の伊通電話からはつながりません。